

オーストラリアの不思議な動物たち

オーストラリアは、ユニークな動物が多い国として知られています。その理由の一つは、長い間ほかの大陸から離れていたため、独自の進化をしてきたからです。オーストラリアでしか見ることができない珍しい動物がたくさんいます！その中でも、代表的な動物、人気の動物を紹介します。




コアラは、オーストラリアに生息する有袋類で、丸い耳と大きな鼻が特徴のかわいらしい動物です。主にユーカリの葉を食べて生活し、水分もその葉からとっていますので、それ以外に水をあまり飲む必要がありません。ほとんど1日中を木の上で過ごし、20時間近く眠ることもあるほどのんびりした生活を送っています。鋭い爪で木にしっかりとつかみ、ゆっくりと移動する姿が印象的です。コアラはおだやかに見えますが、実は縄張り意識が強いので、近づいてきた相手と争うこともあります。また、鳴き声は意外と大きく、低い音の特徴です。


カンガルーは、オーストラリアを代表する動物で、強い足でジャンプして移動するのが特徴です。長いしっぽはバランスを取るために使われます。お腹の袋で赤ちゃんを育てて、生まれたばかりの小さな子どもは半年ぐらい袋の中で成長します。野生でもよく見られ、草原や森林などさまざまな環境に生息しています。また、オーストラリアに生息するカンガルーの数は、人間のおよそ2倍ほどいるともいわれているので、人々にとって身近な存在です。




タスマニアデビルは、オーストラリアのタスマニア島に生息する肉食の有袋類で、体が小さいながらも力強い動物です。黒い体と鋭い歯、大きなあごを持ち、骨までかみくだくことができるほどの強いかむ力が特徴です。その名前の通り、怒ったときには大きな声で鳴いたり、激しく動いたりするため「デビル」と呼ばれています。主に夜行性で、死んだ動物の肉を食べることで自然の掃除屋としての役割も果たしています。現在は病気や環境の変化により数が減って、保護活動が進められています。



カモノハシは、オーストラリアに生息するとてもユニークな動物で、哺乳類でありながら卵を産む珍しい特徴を持っています。くちばしはカモのような形をして、水の中でえさを探すのに役立ちます。足には水かきがあり、泳ぐのが得意です。主に川や湖にすみ、小さな虫やエビなどを食べて暮らしています。また、オスの後ろ足には毒のあるつめがあり、身を守るために使われます。このように、カモノハシはさまざまな特徴をあわせ持つ、不思議で魅力的な動物です。



ハリモグラは、オーストラリアやニューギニアに生息する不思議な動物で、カモノハシと同じく卵を産む哺乳類の一種です。体はハリネズミのようにトゲにおおわれて、敵から身を守るために丸くなったり、土に潜ったりします。長いくちばしのような鼻と細い舌を使って、アリやシロアリなどを食べて暮らしています。動きはゆっくりですが、とても力強く穴を掘ることができます。また、何匹かが集まると一列に並んで移動することがあり、その様子は「ハリモグラ電車」とも呼ばれています。



エミューは、オーストラリアに生息する大型の鳥で、ダチョウに次いで世界で2番目に大きい鳥として知られています。空を飛ぶことはできませんが、強い足を使って速く走ることができ、時速50キロほどで移動することもあります。体は茶色いふわふわした羽におおわれ、広い草原や乾燥した地域で暮らしています。何でも食べる雑食で、植物の種や果実、小さな虫などを食べます。また、エミューはオスが卵を温めて育てるという珍しい習性があり、その子育ての様子も大きな特徴のひとつです。

このように、オーストラリアにはほかの国ではあまり見られない、個性豊かな動物がたくさんいます。また機会があれば、ぜひオーストラリアに行ってみて、その動物の魅力を感じてみてください。



ご意見募集中!

あなたの声が、次回のニュースレターで紹介されるかもしれません。お気軽にご参加ください!

マルチ三重



Multicultural Mie